

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 522

事務事業名	子ども科学館運営管理事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	社会教育課		
課長名	柳原 寅雄	内線	84-156
担当者名	千住 正貴	内線	84-154

基本目標		人を育むまち
政策	010303	文化の振興と生涯学習の充実
施策		生涯学習の充実
関連施策		

会計	一般会計		
款	10	教育費	
項	5	社会教育費	
目	9	子ども科学館費	
事業コード	020000	子ども科学館運営管理事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	市内の子ども全般		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	子ども達が、科学実験・観察・工作などの体験を通して、科学の面白さや不思議さを体得し、新しい発見のある場を提供することで、科学的な事象の考察や調査研究する芽を育てる。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	※主に土曜、日曜の午前中に中地区公民館を利用して各種講座を実施。 ○各教室の開催(映画会、木工教室、ミニ実験教室、プラネタリウム教室、押し花教室、折り紙教室、竹細工教室、科学工作教室、マジックバルーン教室、ロボット工作教室、子ども科学実験教室) ○科学館まつりは、夏休み期間にコミセンで開催(8月21日) ○親子で取組むかがくあそび(プラザおおむら)		
意図を達成するために実施することは何か			
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① 開館日数	計画値	153	153	154	95	子ども科学館はH28.3末で閉館のため、中地区公民館を中心に土日開催へ変更	
		実績値	151	151	150			
	達成度	%	98.7%	98.7%	97.4%			
	② 各種教室開催数	計画値	170	170	170	95		同上
実績値		167	168	163				
達成度	%	98.2%	98.8%	95.9%				
成果指標	① 入館者数	計画値	10,000	10,000	9,000	2,400	各種教室参加者及び科学館まつり参加者	
		実績値	9,294	8,479	8,726			
		達成度	%	92.9%	84.8%	97.0%		
	② 各種教室参加者数	計画値	3,000	3,000	3,000	2,400		同上
		実績値	3,622	3,809	3,322			
		達成度	%	120.7%	127.0%	110.7%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	4,334	4,279	4,583	4,813	2,629	2,629	2,629	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	4,334	4,279	4,583	4,813	2,629	2,629	2,629	
② 人件費(千円)	2,318	2,344	2,261	2,329	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.27	0.29	0.29	0.29	各種教室、出前教室の開催	各種教室、出前教室の開催	各種教室、出前教室の開催	
時間外勤務(時間)	86	76	108	110				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	6,652	6,623	6,844	7,142				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	集客増加のため各種教室の魅力の向上に努め、広報おおむらやホームページに情報を掲載して市民へ働きかけた。また、8月には小学生に限定せず中・高生・一般人にも関心をもってもらえる内容の「子ども科学館まつり」を企画・開催した。 なお、子ども科学館は、県立市立一体型図書館の建設に伴い平成27年度末をもって閉館し、中地区公民館を中心に事業を実施している。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	子ども科学館の閉館により、中地区公民館を中心に講座等を実施しているが利用者が伸び悩んでいる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	子ども科学館の施設は、県立市立一体型図書館の建設に伴い一時閉館しているが、各種講座等の開催により科学の面白さや不思議さを体得し、新しい発見のある場を提供することで、科学的な事象の考察や調査研究する芽を育てる必要がある。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内に同様の事業を実施できる団体等もなく、子どもたちに科学について学ぶ機会を設けることが求められている。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	特に科学館まつりについては、多くの市民が関心を持ち、多数の参加で賑わっている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	現在は、施設がない状態なので展示物での学習等が出来ない状況であるが、子どもたちに科学について学ぶ機会を設けることについては貢献できている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	必要最低限の経費で運営している。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	必要最低限の経費で運営している。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	子ども科学館の閉館により、平成28年度～平成30年度は中地区公民館等を利用し、開催可能な教室などを開催すると共に放課後児童クラブや幼稚園等での出前教室などを実施する。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	科学の面白さや不思議さを体得できる新しい発見のある場を提供することで、総合教育の一端を担う事に貢献できる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。